の本領を道域なく競抑し、一般

間せる結果にほかならず、こと

の政學快速なる報識に決職議會 た第八十二國時職會は僅かに三 日間の貿別に抱らず、造衆國歌

飛行した。一瞬の際旅をも許さ

職會のあとを顧みるに、劈頭

民一度水も残らさぬ場場一致

**反映して『米英昭描一像放闘ルの策をあげ、一個緻火の決意を** またこれに呼吸して、よく数符 固たる決意を披護すれば、鎌倉 決定を通じて窓々强固不放のも

あるに鑑み、衆議院の如きよく

こくに完成したことである。

時的使命を捕滅するものである

各特別會計十四億三千萬圓、

ひながら一般強計六億二千萬四

の設立によって食品管理体制が

今更ながら戦力増強と國民生活

用されつゝある。われらはこの 位と値命は議會を通じて益々加

質擬管理艦制の完璧を被として

は可決された賭議案館に豫筑案 

> 酸成されるといふことも一應は インフレが生じ、浮動勝買力が ない。更に繁質の質行に皆つて 質行は蹴じて生盛しきことでは

食糧の増産確保が坚職遂行上の重

何はともあれ、戦力増强のた

確保の上に寄與すべき朝鮮の歐

ものである。

のとなり、政府これが確立と出

産業再編成たる企業整備は極め

1世にこれに必要なる追加豫算案

である。食器の増産産保の問題 間の議事並行が見られたことは

> る。しかも貸債基地としての地 年出あげて食糧増産に総起であ

また然り。特に朝鮮にとつて注

政府提出の八法律家は企器整

のみであったが、この戦期的な 解、食糧塩産職保の二聚無際

て重要なる問題であり、

的祖の劇別的施政演聞に始まっ

湿し政府の军団たる決意とこれ 國策の 基礎を 樹立したことは

待望裡に着々として具現されつ つむることを知り、極めて力强 動の經綸が大東亞十億の民族の

あつた。

地名歴史的融資ともいるべきでもる歴史的融資とは、 今職者こそは、関係決成に

優、知らしむべし、倚らしむべ

ら、朝鮮にとっては間に駆倒す たことは皆然のことはいひなが 心なる答案によって再認識され 命が政務機監以下政府委員の熱

名を恥かしめざるやう一段の努 ある施策に協力して設計朝鮮の べきであり、農民东之この統制 と確保に積極的管理指導を行ふ 用よろしきを得て、食糧の増産

議なき問題であらうが、これが

また風時の名において、何等異

隙に附せられない。 企 業盛

いかに膨脹せる酸時財政とはい へ、この豫語の質行は決して等

第一種の消極的に對し積極的整備

對する中央の非常なる期待を見逃 感激であり、半回食精増産計量に

感激と事務計選に對する絕大なる

一五百萬民衆の旱害克服に対する 重任國民の双肩へ

す
と
は
出
來
な
か
つ
た
、
と
ま
れ
今
磁

しの態度に出で、稀に見る快温

政府宗たされに對して「虚心坦 傾重なる智麗を重ねて除すとこ

親母しき皆遠を描いたのである

図民また帝國の雄雄深遠なる不

って臨んだ議会戦の努力とが研 に振って総始時動なる態度を以 決戦議會幕を閉

九日の財際式をもつて齎りなく

したが、天皇陛下には同日午

しく卵立飛線を仰付けられ、一同せられ、御心労の思名をもつて親

は思名のほどに恐懼、宮中を逃下

ものであつたかが明瞭であらう

會期僅か三日間に過ぎなかつた一制は正に完璧競種の形にあり、既一

って、この一事を以てしても今次

められた苦機を見逃すことなく『この機に腐み敵米英の中に秘

**う、** 曽相の演説は正しく家のこの呼鳴する米英に何程のことがあら

この點を容直に示して 氏の生産増强に對する質問に對し ぬ、鈴木企登院総裁は中島彌蘭次 はれた軍大意義に想到せねばなら

「今日の勝利なくして明日の勝

らに物質力にのみ依存して反攻を| の目標なく関連既に我に吞まれば

質器動員生産擬元の諸計畫に盛り

工場は軍需工場の製活用、保存工

意を反映して設定半国は従來に見

こまれてゐることが岸西相によっ 既にこの根本労針は本年度の物助 畏し國務大臣

员、各省次官、內閣母記官、內閣郡

理大臣秘语官、各國務大臣秘書官

閉會に際し、十九日午後零時半よ

地蔵方策を決定した、この施策に

は治々四十分に亘り我決取諸施策 東條首相の歴院における施政演説

深刻市烈なる戦局の現段階を説明

に個明した、先づ

ある、併しながら自蔵以外に版第 | 國民は今次節音がその時を得て行 | く殿力化せんとするものである、

決戦臨時議會を顧みて

おける食精確保を主軸とする食糧

は政府、護衛軍然一概となり、決職 上った順殿下第八十一回臨時議會

我施策中外に闡明

勞午餐會

以下に賜謁 常語】第八十二臨時職會は

(版內市)

然え上る力がそのまく議場

大東亜諸國家、諸民族は必ずやさ

留を通じて路域の大理想に基くわ

んことを期するものである、政内

央は半島に期待

内外地一環食糧政策强力に展開

る 第年現るまで撤逐してゐる 第一個部門に於いては勢勢、如 他の朝吉用、企腦界の回復に能 も多くを知待し、この方針は記 業、朝用、 御存・休服の四に けてゐる

図試しなければならぬ。 徹底せる

の瞬間であるといる緊迫隊が関策。四種(既給)の四部門に直りそのと述べた。即ち今日この時が勝利(第二種(既給)の四部門に直りそのの事が勝利(第二種)兵器)第三種(縦工器)が

方法も第一種においては强権の設

第1面(兵器)第三面(難三蒙)第

したことによっても明かである。一個大等よりして朝鮮における短機一名に至った

に国點を置く必要がある」

首相談を發表

千孝也魔謡響を加へると、もに、一般して一時北方山岳地標に道江し、郷田しだわが精鋭は歴虹の破殺 1 一概して一時北方山岳地標に道なる変形に度を失った破は鏡を

スホーク颞颥微との大きさの比較を示す】(英紙より)

トツブを切って制心に短繊維を今里したが政府は新たに繊維資源の

は露職六千三百馬貨に對し二千五 廻してゐたものを本年度において **関数のうち一千五百萬衡をされ**に

主原褶とするものである、しかし

する狀況にあり、それも間鐵糸を

白貫竇を短繊維化することに決定

に属する具態的方策はいよいよ明

上とも迅速果敢なる行政の迎答を

が願い限りであった、本誌一行謎の質を難けられたこと

慮して共同の歐米英樫描に邁進せ一

に全力を傾断せられんことを随つ

押し政府と相捌へ一路成力の治強

館とをもつて頭朝不搦の底力を跳 期する所存であるが、國民各位も

元帥に縮かう、アツツ局勇士

旺成なる土氣射昂なる気

敵撃摧へ

内においては企業整備と食糧の増

つて政府はこれら重要政策の政施

作成開始せられるや脳第五戦區町【英ロ十九日同盟】、今次夏季進攻

知した歴城方面のわが〇〇部隊は に翻動を試みたが選早くこれを祭

更に他の一際な四、北側山中

日朝天王寺(京山東北十四キロ)

應城附近の

はわが遊攻を側回的に歌師せんと

百廿七師、第四十一年第百廿二師

師一個恋に對し徹底的猛攻を加へ 西側高地の陣地による政第百廿一

一方でれに呼吸して北側高地に

キロ)で完全に緊催した、わが続

を交へこれを双合居(仁和店北方

さる二日夜應城北方附近

し第廿二集團年配下第四十五里第

施するにあり、第一の企業整備は

を骨子とする果臓なる新政策を世

じて米英を贈掘、大阪完選の一路

られるものと期待せられるほか、 比層に對する獨立準備、タイ國に

力をつくして戦力的強を達成し断(條約の映話に関する変態が開始せ

近く中華民國との間に日華

地場原住風の政治参興の許興など

期待される 具體措置

増産は既往において外地に依存し力化を達成するため、第二の食糧

て迅速減度なる既行を期し大東距一た南方騰地域における原住民の政

るらに大東亜圏内の各國各民族|對する新たなる協力、ピルマの顕

萬뾌をして 各その恋を 得せしめ に惹々として大東亞の天地に具 斯くのごとく大東亚の新建設は

が、この指國政府の力强き交接の カをインドより顕変し、黄の蜀立 ますう目っぽいり致くさます。戦相はインド民衆の國たる米爽の勢、リヨール西北方地區の國ン変財献起せしめずにはおかない、東係部【ストツクホルム十八日同盟】オ 乎たる事質は今なほ英國の証典されつくあるのであって、この 【ストツクホルム十八日同盟】オーるが、ここ

|始、特にムツエンスク西北方地區||び梁更の公報で『鄭軍の強襲を探

第めたが、以上の非難に<br />
駆ぎるた

アヤーチルは大量になって映識に 不関部総界に持ち上り、英國首相

を敷取した蜀軍は逐次猛攻撃を開一尤もソ聯情報局は十八日正午およ

西北方地區

獨軍の猛攻

主導性奪取

對し芸向けられるであらう、かく

他の部隊は同一ら取局の推移を強劾に焦慮してあ

報じてゐるが、赤色司令部はモス して西岸の御頭堡を確保した。

チ・ボース氏來朝の波紋

るといはれ、D・N・B記者エル

展開を期待

・ハンマー大佐も

獨政界筋の見解

指摘、來るべき要素決職と結び付職局が漸次版大原的にある事質を

**反樞軸艦隊ジ港に集結一され、流石のドイツ闕段もボース** 

る英数隊が英端してあるといは、 たボース氏がいよく 直図に近 | 亡命地ドイツより東京と深り東係に脱陸二安、略変観十二変から | 荒汲な印度郷立班動を行つてあ | 哲学ヤンドラ・ボース氏がすでに | ドイツ吹界ではドイツ潮花中も | でし - ユードトをもっての | フェート

氏の神出鬼婆ぶりにあつとばかり

強闘してゐる

けて岡方面における威闘の意義を

然として日本に現はれたとの報道 【ペルリシ十九日同盟】印度郷立

【昭南十九日同盟】十六日の京縣

定檢所驗試生衞省生厚

の感激倍加を住印度民衆

最高として概系の重要性は頓に加

の隣百廿七師五千と激烈たる威匹氏(機城北西廿五千巳)附近に選出 伏せる約五千の敵を拇捉、徹底的 質に打ち倒てられるべく政府が今 民生の心からの協力とによって希臘の大祭は一像放岡の熟剤と中國 打戦を戦へ、ついで更に六日仁和

次費現せられる管である | もや野の変現せられる管である | もや野の変現せられる管である | もや野の変現を対して変に変じて逐

三日を押し實店 (應城南西世) | キ わが方の反動を知るやまた

口)国公店(既山南方四十五キロ) 心とする 包路網を完成し 数百廿 和店の三方面より一番に行動を 十四日午後六時仁和店を中

た、現在までに判明せる販果は七師主力を完高なきまでに販阪し

ではれる 令部を新設英東亞軍司

シントン會談に際し、英國政府が【リスポン十八日同盟】過酸のワ 興論の緩和策

を遂行するといはれ、従って新を遂行するといはれ、従って新を遂行するといはれ、従って新を遂行するといなれ、従って新を遂行するといなれ、従って新

は 【東京管路】日 単映開風器(戦の) を るため小道正鵠(大) 大 るため小道正鵠(大) を るため小道正鵠(大) を るため小道正鵠(大) の (東京銀行東市所曾長) 南郷三大 男 (東京銀行東市所曾長) 南郷三大 四 (野が熱制等) 音級三大 田 不訪社長) などの諸氏 1 行十二 限 2 の上 派 南京銀 2 の 2 に 南京銀 2 に 南京 2 に 南 2 に 南京 2 に

ピタミン

服みよくて胃膓を害せ

ミン單位が適正不變

デーは特殊水産動物の肝臓を特許の全真空工

程に依り天然組織のまゝ薬剤化した唯一の乳衣錠

にして、消化吸收良好なるため婦人子供にも服み **綾けることが出來ます。而も含有せるビタミン單** 位が極めて正確なる點も厚き信頼を得てわます

腥臭なく而もビタ

水產化學類證

小倉正恒氏一行渡

体力を養う

**直木鹼太郎領土逝去以來明**以 ってゐた劉巖の神充ならび 【新東十九日同盟】清洲國政 大器を版

題見品

庞 康

松木 俠

区 彈

綴男 雅扬赛筠 准 准 栗

座銀 京東

堂生質

維の重要性は政府が從來遊戲七千一朝鮮においては水年漸く見洋雲糸一株能に絹毛生糸の鏡展は今後必至

政府、新たに物動物資に指定

(現田久) 本府線道局管配 野々村 市の場所を記し野々村 

民間移動は凡で十億回と穩定さ

(不) 競本形然與語語者 阿合 良一 任本府稅關整查官(八)命顯承稅 。

本府即豫尉被数齡 大河内 弧 宗府專賣局技師(七) **60**1

子 任本府消技師(十)命平北在納 一 任期徵過立國院繼官(五)命金北 在納徵道立國院繼官(五)命金北

在動館與工協院國軍 公勢

里院公立陸藻型統 研修公立陸藻型統 學校教施 學校教施 學校教施 學校教施 學校教施 學校教施

本府縣道局部務官 本府縣道局部務官 本府縣政局事務官 本府縣政局事務官 **業里央論** 

◆金村寨男氏(金北知事)事故 合世のだめ十八日入城、朝鮮 会世のだめ十八日入城、朝鮮

霏

肺病治

療の原理

般 太 雄精郎 P 男性感活ホル 肩疲活 老年期の 大田 耳倦 期の 滅 鳴怠 乞

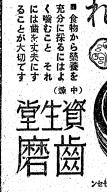
初製丸



膓 豫 治 疾 防 療 患 12 3



Briggs 特式 肺戸衛生實驗所。 - 小吸収 株式 武田長兵衛商品







總督府辭令(十日附



壓弱兒

姙婦

療養に 農林省水產試驗場創製

皇民とし

の意吹きに解離な最民の質姿を惚

からこれを段村に吸引して※該のようので、寺面寺、伸通、阪川等の河ので、寺面寺、伸通、阪川等の河ので、寺面寺、伸通、阪川等の河ので、寺面寺、伸通、阪川等の河ので、寺面寺、伸通、阪川等の河ので、ち面寺、伸通、

聖鍼をふるふ半島青年の意気

陣容決る **踬業振興新** 





民会版の際留で協理を得た上、民会版の課題では民主の歌記を認定してあるが、更

與へたが、他方石照元盟相の

と哲園に関する法理的解釋を

朝鮮に現役してゐる住宅、

を認山持つてゐる私法人であ 『哲幽といふのは公信的信仰

殊自能が利潤を削提とした登 製に収認してゐるのに図して 産業物質の概念歴といひ、

産機額も脳地の傾向にある、本年 の最の競等な比較的に脳調だ、作 で融設し、七千四百枚に止めて賢 将越種掃立狀況は昨年の早期で

傾は、朝鮮における識糸薬の助 領大な感響を硬へるものとし

0

安城郡責任數學破

は秋城に備へてこれが劉策に極心

類門能 \ 皮膚科·化肾足

一ても独自ではかるよう。 一ても独自ではかるよう。 一で、本年度の供用目類を発成す。 本の香がは、この自家質的の防、は六十大威・干威(非様報協式十一下海幹能が破壊に立つてआ感した。 本の音がは、この自家質的の防、は六十大威・干威(非様報協式十一下海幹能が破壊に立つてआ感した。 は八十数)で金銭銀角(中、小田、一、本年の代域については商尾角形以 職北道内における意識の中間的

早魃征服肥える桑

目標額達成に自家消費の防止

と、難見師法による收函減少のご

酸供出に全地官民總協力の下価語を続けてゐた京最道安成

破資は誕作の野で聞かずに上級し 適順であったので容識の

地位にある金泉部は、敷年削から

る瞬の質は旱気の原理を受けて精

まだ機く力が残つてゐたのをこゝもこれまでと比べ三、四鶚以上も で初めて知りました――。宣戦の

同に以ている。 「以系作誌」六月廿日(日) 編 「以系作誌」六月廿日(日) 編 「以系作誌」六月廿日(日) 編

人夫賃の公定 合港運會社

理局第五線長剛大佐、黑鉛統領場

名が緊急地震方を要認、これが路部絡狀況の重大保を料直に述べ

洋紙需給に即應

振興のおいて、現代の関係をはいて、現代の関係をはいる。 現代の関係をはいて、現代の関係をはいて、ののでは、現代の関係をはいて、ののでは、現代の関係をは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、

東邦織、柴田の四庭が出席定版資源指側として東沿、野崎

配給統制要綱を改正

一る半島に跳せられた資務は極めて

柳凱などの非然戦的なものも相ば、で助ってゐることは葉名にとっ、 が歌の仕入れなど感滅用が使用駅 一届く凶屋養命と流過に渡る 医室道氏療する必要を提出液を

オ總會グ

投資も絶對決戰型で!

への叛

大本会陸軍報道部長大本会陸軍報道部長

資で財金存分で設備させませる。 推構の他出に燃へ協家が設水する

敵の謀略を破摧する

陸軍部 秋

中

信一 金寶 北部 柳東城/阿山縣小野

相當高半である相當高半である

とは事質で、これが打印

そして順産の質をあげねば順だと

植付は順調に行ってゐ

てゐたとは言へません、自分たち

公定價一斤

の農業報國南年際が

京城農園販賣部 乳汁分泌不足に

ミスト

治

もす大絶讃に堂

々公演中!

一下日より上領政しますあの山越えて金五景は

圓六〇錢均一

晴しかつた

菜種子卸小賣 西小門町四一 電光③1960

| 一成リカン・株分へ失効数シ級 | 付加度会長の三割シ羽日名三球人様の日不球人株余ノ県出失 効 公 告

京城 支店 方小 賣店 募集

医学博士 中橋幸馬

朝鮮煌草興業株式會社

○手軽な用法と ○手軽な用法と 「理像粉を主成分とした理想的害 理解と現分とした理想的害 性質像粉を主成分とした理想的害 性質像粉を主成分とした理想的害 性質像粉を主成分とした理想的害

にて特別販買 各百貨店マーケット 各百貨店マーケット

社剂新读·錢拾四際。另

政治の然な現下の際局は信根製造

策打合會黑鉛增產對

情をつかみ得ないので京城的語で

金融収別については、おだ金融的

長期より短期多し

中小企業の金融質態

に査定度施されてゐるほか他は大

に言っては各権別の特殊事情を 充分等協して権別に適正員率を 決定、當局へ認可方を申請する こととなるはず

醫訓、藥劑師

を練る模様である、これが公定が公定の議が背められつくあり

間で協議

海湖 國合格者 四沿

農村にて

(3)

|都を要認、これが唯一の政治地と一るため、唯权条件内に対ける部録||一それによると行入金を与するも||(東梅五年+十年)は帰めて少い。||の日とカリザの原向は「後要型・本っ・フォール・ジャン・フォール | 「新年記」 || 「新年記』 | 「「「「「「「「」」」 | 「「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | その世

試驗台格者

削師試験物館試験合格者を十八日本六月施行の聲師、競科響師、繋

入する百姓の方を見て神國日本の

大次の深端は

## 決戦する職場 学島遊休層を活用 光づ躾から訓練始め

年の少いちてし止まむが、新神を淵海軍時別志城、兵師褒要は、半島湾、中

熱烈血書志願 海軍へ沸る意氣

大門署長事係で聞れる是非私たち

願などに半島の赤脈を示してある

が上にも聞家らせ、相次で配当記

ひは合格見込のもののなかから人

示した、高力別とでは田中宮底が、年島の南原年に対する内臓一酸、智此、銀行などで植態的に振ふやう」と関い方面に統飾方を招 具現への織師と、決戰屈屈下、自滅する就後の領軍な人的資願を最

現在遊休が感じめる宇宙常能年を電腦をはじめその他の職場に就か に記写が職場に限ちのかつて職多輩公に世身す に関めて、一年近半選集後20、一郷の上着十名採用、外間信命のが一まこそ装神に征かん。の決意を際、物、成績ともに優秀なるものを試

全鮮に展

## ない孤縁な夫婦が、死の床に描い

### 動の葬公園の活躍ぶりや協和面の健身取闘状況を破察をしめてゐる と先立つて短盟は、このほど中山企主戦及を観消し議選して海州関いて、近く風被出身不敷終着の象成調戦を帰めることトレた、これ、年代であると議案し、認誤時辨錦麟ではじめ各興家方面の協力を印像門であると議案し、 認誤時辨錦麟ではじめ各興家方面の協力を印

## せるには、頭接の精神的訓練による躾の完成と助労精神作種が先決し

# 築け鐵桶の防諜

報、課略版にもうも勝たねばなら を打倒て、益々跳频化する微の能 の頭化をはかり、銃後防衛の完璧 が二千五百萬はこの思想版に明録

販きせめて我が身で報いんと約身 職場に送る子供一人もたない身を

・ 「夏」版 「別人子供」 「日本」「日本」「夏」版 「夏」版 「別人子供」 「日本」「日本」「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、」「日本の作りが、」「日本の作りが、「日本の作りが、」「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、」」「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、」」」「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、「日本の作りが、」」」「日本の作りが、「日本の作りでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のは、日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本ののでは、「日本ののでは、「 はかり学局関係の類階を助する はかり学局関係の類階を助する 日まで一週間を《漢版防影館化選

忠魂の母

い間

部にいつ ぱいに織らせて大 相撲 な安深、威嚇と極端を主像と観覧 PB がたる最単語長の頭頭の端に縮後 PB

つ熱戦大相撲

窓で報ゆべく信山郷労嶋に復山圏(榎山)館後原宗版士の古がに上

濁酒の特配

調のい

昭和十八年六月

第百七十一回 1 下现综

察監長の成案に言き問題株式的社

後三時半倉茂田戦遍郡長入場して

- 概要生意は土の土質を振動してる。 五日までの一ケ月間を陰虚に特徴であった月間を陰虚に特徴

Z POLINA

野村久ぶ

会が一番 が一番

本紙が

の支柱とたのむ夫に死別、以來二一母の觀りを除一ばいに就後都公に 人の採兒の成長を唯一の築しみに

はいま臓臓膨胀臓中鼻で敷厚中を記を早け騒いを次男の長生私(と 君を御國に擁げた、そして兄の記むとは今次大東郡戰爭に長男の哲郎

本は探院の経界に振りむおとなった。 は、この第子さんにこのほど廿年間、中 の第子さんにこのほど廿年間、中 質はで剃ってるた次辺の魅からっ し、れ、ついで種目はが好んだ資優し、 れ、ついで種目はが好んだ資優し、

が、十枚目の主傷入りを終へた年 mを立つ相撲に強め中にも『顧機よ m

樹振はず今後大いに結解してほし

會 前 期 明 可挽木・協京・京東

巴內部特別百年頻成所生徒一同《海布》大加三十段成紀的道與

來るのだ! 媒陸口防空學校

省航總 報空司

道本令部部部

社会式株業工幣日

1757111

の音が

薔薇の花の意匠で有名な一

興亞化學工業の力作です・・・

は、スペイン

の強い母も強に病魔に襲はれ、今に対する旁子さんであったが、こ

これは去月廿九日附本紙夕刊版版 中山兵間」と越する昭母がとりも

名がけふも担手に迎へられ東極い

5時起語公を目指 一際がえる、前相撲の終る頃任成古明起語公を目指 一際がえる、前相撲の終る頃代的計画といいます。

中人後は大和投資出、前出、笠田人後は大和投資出、前出、笠田、建立の一環、笠田、維育りに近く見えたがを報答しゃの寄事に見ら大國を仕止める、結びの一番

大同金融組合の神制的金は総計四十五日収扱った第十三回

IX IZ

無線過信士 76人 著名 一、無線通信士 76人 著名 一級無線通信士 一級無線通信士 一級無線通信士 一級無線通信士 大東 滿洲 海上 東京上山原之(所) 東京上山原之(所) 東京上山原之(所) 東京上山原之(所) 東京山東京山原之(所) 東京山原之(所) 東京山原立(所) 東京山原立(所) 東京山原之(所) 東京山原之(所) 東京山原之(所) 東京山原之(所) 東京山原立(所) 東京山原立(所)

式會祖出張祖員

神前貯金好績

◇京城場所~第二日目十九日は早

製造で展げ、製造で展げ

これを機甾に七月十三日から十九

(本民首や国の物定) 致信節時、指念必然照明期に拠える時は1倍。から見続を声戦られた間段を課長の数定) 数面第二日設 十八日曜行の郷路部所耐金成式に 東を示したもので、影の報報報の関本 のできる。

警防幽の鑑

く强化週

が 死の腹部に関ぐにも郷らず、すべ 山正夫恋で、網塞が重慮に殴り、 在陸式に出版火を助く経開線を行ってをありずしし

死の健康を見て以來一般と真然味

のチェさんからの競りは干成人の一行一人・ミニュー

四時から苦草園場で明徳選作の

薬 (情報) では、 はいのは、 はいのは、

2.747 2.749 3.49 2.751 3.500 3.013 3.014 3.67 3.267 3.268 4.287 3.288 4.287 4 3.393 3.493 3.509 3.509 3.510 登下四次 自 241 至 250 自 891 至 900 自 1.301

京原・五五〇一・〇〇 (有名別所にあり) (有名別所にあり) (面) (面) (面)

自除名が釜融して職ふ報道採員のメラマン、新版雑誌記者、詩人等 別試制自至上行、交人、洪家、为

照ノ海山

との

るに有り

がよって、其ノ他一般家庭及館 に関うこで、其ノ他は別注文治版 に関うこで、其ノ他は別注文治版

朝鮮殖產債券還償公告 本月一日/报签二於テ下記證照過等混查數與二付來 北七月十五日ョリ銀營用與一支節門或與 株式會社 朝鮮殖產銀行 607 670 737 845 895 913 978 980 1.050 11 TW/2 269 270 235 286 型下图学

自[151 至[160

は望ノ夜光標示板 ・ 「空」を ・ 「では、 ・ 」では、 ・ 」では、 ・ 「では、 ・ 」では、 ・ 「では、 ・ 」では、 ・ 「では、 ・ 光發 明光明學化科學光源 上四八四次 店商屋田今

### ・総談る朝し、 社主催 光州地方射擊大會 一元と『醒らてし止なむ』

大氣をつく銃眩、その一酸々々一長簡見大佐の式酔、泉城師贈長の 一概元(耐水中佐代語)があって次 して威士堡の主義な硼が上にも配 こめて火花を散らせば織の柱に

光州地方大西は京城、大邱屋地方

、開催された、郷重、県使の射についで十九日大田龍簾射闘

の一般をこめて排出する本地形にの一般をこめて排出する本地形に

決威下國民保健の増削が製造の要 厚生日を設定 思想晋及策 京畿道の厚生

して山木忠南加京、金村企北知事遊べれば、これに関し來聞を代表 (代讀) 八冰全南知事 (代讀) 北

▲俗語及び時に於て人夫組入れ を喚起し傷生息却の昂昂に劣む を喚起し傷生息却の昂昂に劣む した結果、二百回を得たので早速 選総に當る宮本久治氏が殊戦、 二百回を得たので早速

官更瀆職事件

附されたので十九日午後五時を切り 集件の全貌は大災次の如き蝦焼に し新版記事芸止を除除したが、

の問題の難で大当の縦を切って落一げ、鍼後の鍼性を振るものはわれ

の火器は切られた、武蔵に身を囲 り、かくて同八時五十分一般必中村大田臣野からそれらく破跡がむ

めた版士達の前には難と段類が漂

鳥取縣下御巡歷

李鍵公兩妃殿下

摂城を鎮止、松城が長指掘の下に競去る昭和十五年五月一切の記事 がねて勝工智願はの 言職事件を描 がねて勝工智願はの 言職事件を描 部語を山戦、葛山牧脈節取の服で 心等の検照となり、 小金、本郷別

ペを進めた結果、脚工省機類高長四子、三個、大月各級事等が取開

研数な報しむきにかてて子供一人 | 長本郷籍文(\*亡)同省協議院院総郎 近親者が寄託 | | 院小金護服(\*\*亡)同省協議院総の 遺言の献金

職の本部長、長谷川後報知が係で徹面 が、分の後親を総結し、何れらればの かの後親を総結し、何れらればの

語って貯蓄十

本郷語式 は近瞬化工株式自動 本郷語式 日本会成化原工選株 式資能にの面投料協及三級(全) 小西化原工課株式自社/東小西 服役(こから版十回にわたって 合成(200年) 

時じた

【恤兵金】

▲伽吳並二百十七日六錢也

二十九圓五十箋錢也 總計百十五四二千三百

時から議費を連引してゐるやう
である。とこの國にだって平和
である。とこの國にだって平和

勝ち扱かう、勝たずに止まむ経れて民戦健局、銀行の駁口に模判する

く國民遺営の力によって賄はれて を勘案すれば議論の九階六分はよ 税金をとり立て、取費を晒へはい、されてあるわけのものではない、

帝國が支那大陸に聖殿の軍を進めない、國家記政とても同じなのだ

らく非常手段がとられるのに遊び とだしその時はその時のそでおそ

価の保證は別し繋いから、結局政

が砂塊がどんく前級に造られて四、東亜戦争へ変態した、兵器が衰極上を、兵器が衰極上を、兵器が衰極上を

田になるが同時に事態以來の國民

お恥しい半島の國債消化力

國位を買って銀行に強けようなど 一つたら土地を買なうとは彩へても

はいけられ関に登録機能な中、どの二 登録関係は日本銀行に関係の所

る、利廻りを彩へるといづれ **國似として十国家と廿四家とが** 

正に光気ある図田の献献である、

なら三百十八億が出來るのだ

即通

ti:

文

易に低級御奉公の出來る道を跳じ

いといった階級の人々に古へ名

五百回、千回の五種類、また以ふ いとして廿五四、五十四、百四、 おけば利子のついて來る利札前 は比較的買ひやすくするため際国 小刻みにしてある、脳ち以って

動撃銀行が國信を買ふ、配便貯金銀行から買り出され買上金を以て 概められ版数となる、歴労は映製り上げ金は大観省預金部において

ひたいけれども細まった金は出し

数が設行されてゐるのである。

一の人間の機能を巧みに握んで伝

も同様大脳管質金部においてまと

といふことは矢張り弱へ難いので

ある、それにまた國際に對する認

こで次に協勢について切し説明を に到する馴染が薄いのである、

以上大概において国国と観察との

いった、「競技は常然巨額に達した

貯蓄

高一七百世以四

方である、然もそれが長別職とも

は自然の勢ひとして派遣は島む一

私たちの生活にだって不意のもの

|化した、これに生態酸粒資金三百||ところで風は、閾値と一口にを終れ場に近い三百八十五個回称||てあることになるではないか

ところで國母、國面と一口にい

は戦争する

[5]

はなからうか、まつ低效は国域は

一は一般金融、離紫製着へ行り出一般登出しにも二種類ある、その

仏勢については説明を要しないと

される比較的凝固の大きいもので

その他が駆倒局の窓口から一般大

げ捌かれるのである、

て了ふ、そして登録を要しない ものが一般に受り出されるので ある

銀行が買り出すもので 観行が買り出すもので

低劣や国位が臨時軍事のつまり取

のものを發行出來ない、そしてまづ國債は五回や十四の小額面

あることは分るのだが、ではどん

な総路を辿って軍事強になるので 独を崩ふために流行されるもので

こされて設行するものに関切金一神一聖一な一 る図家の名

の消化高が少いのにも理由がない

地さへ持つてをればまつ間違いな

そのうち 國旗について いみならと『旗数』との一種数に分をれる

争が

でゆく、政府にかくる戦争が戦闘なれば戦争は追に破敗的に増大し

空里文社動務對村政之 理理上大学大工工 中運送と 混雑中に付定 建築も相簿も遺骨は 連接と 混雑中に付定 がならの運に 至りは がならの運に 至りは がならの運に 至りは がならの運に 至りは がならの運に 至りは がならのでは 多大ので りない。

村下勝手紙上を以て御調では、東京の場で高に強り、響りない。 有難く卑り候就で、は兩名生前中はり候就で、は兩名生前中は、可能は、更に依り内域の場で高に強りの場で高に強り、響りない。 御の原中内な死

波田聯盟總長米英撃滅展へ 心は不滅な

遊を縫つて防れた、曾場に一歩ス

几日午後一時から頻路場訓示器で

からく勝つために

國民後國に次いで中野組合民

専門ノ丸安組へ跳流が

豊田計理事務所

性病科 医学等主 渡邊 晋 電水894

を捨てム銃後の質

京城歯科醫専の

科外科解的

鏡路場では去る十日經濟保政原主一待して舉行する

感激を献金へ

山崎部隊の玉砕に應へんとしてゐ。の勞苦を思ひ、アツツ島における

米の不正受給者に鐵槌 道警察部も拔打的に調査に乘出す 市年の創在の折、不正申告が鑑 以と云ふ驚くべき人口集計を出 と云ふ驚くべき人口集計を出

午後一時から完町龍山瑞派寺で來 城中の暨洞宗大本山永年寺賢主勅

徳のかまかまの

との調示あって、税務発順、総務側、

官グウームへと慰って『誠心は不 機関、同二時十分すぎ留場を後に こざまよふ思まれね一少年が一れを聞いた盟田巡査は早速本人を「健民健長の長にする

関しい ・ 総終官の温い同様によって難った 自宅に連れ届り手模い物範を加へ 空腹に堪へかねてゐたもので、こ 程同巡査の美界が判明し撤還の的版数を敗へて親元に随したがこの て三週間も誕生させ名古屋までの

一刻を 鍛って 不正甲告を取消さ 【器翼=配念試合】

これは、お削さんがあ

皇軍の武運長久を祈願

瑞龍寺で慰靈法要も執行 から既死者英思追悼會を閣修、同

るう云つて、質欲は、片手ばか の部屋に忘れて行つたものだ

新利紹かる



高期國身突来限土土許法司 經班前繼元約 超型即足 組織<sup>20</sup>保守研究初物語的本 計為超過超過 "護道立立 金金金金金金金金之為高金金金

老高神 老竅切虚 歌 K 止症









日鹽了朝海本都と時の

朝鮮美術品喚所旗部朝鮮美術品の所旗部

開ってい 眼<sup>光</sup>村<sup>記</sup>スス

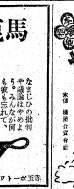
然線電信學校

光澤寫眞 製作自社技術者養成ヲ目ガトス開計満洲製電方無線通信社及無量関係者選信省的年度は各別の 公會堂前ひかり 專賣特許+二度使へる

非是は親兩御い愛可の様子お !ぎつ世の亞興!民國少れ護

サ東京孫太郎蟲總本舗すぎの子以 認知とていました。















期待される輕工業地帶 る金服み 卷の耳東城 **(6**)

人公なる祭(164)

二芳 悌吉(繪) 中野 實(作)

甲斐計理事務

お歴々

位宅街

朝から

夜

尔日 案内

神經科

景の

貸衣案

でしらをきるつもりかい

置骨重刀

計商標 シルバーナジャキ17

辯護士業務

- 坊の飯皿経職隊 都運

三號型(十行)

都 旅

(明明國籍以科第二) 化香

Winds (離路)

级的 | 特神力も體力も強い

機道くス

第拾壹回決算報告



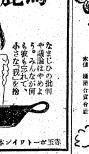














満局長。 

「関の権持党成」つて自襲するのではないかとい程

ではないかとい程

か、れを自住し或る間に於ては自負、既に 内地から移動して來た、下菜 いたの様人の「整でもり、またら、上もあるだらうと思ふ、しかしま が内地人の「整でもり、またら、上もあるだらうと思ふ、しかしま が高々時軽の力を指され、しかしま が高々時軽の力を指され、他名 で、しかり、こうしつで、大変やして行かなければなら れ内難人間の背費物質が共通 して來るやらになると自然人疾方

欲しい優秀な技術

内地農家の移住る歡迎

決戰半島の眞姿

總督府幹部對談會

**尹命シ併セテ駒等原ク** 脱本日ヲ以テ替國隨會ノ閉會 「東京電話】第八十二四時親會は | 僚ならびに岡田衆親院職長をはじ

臨時議會閉院式

況戰間週支全

(成月十八日最美) 「町は中央市に比して全面的に待部」最近相次いで抗酸酸钠の局臓技能「南京十八日周盟」」 本許であらう、なほほ近頭地より | 太行作戦で、関野戦、微峻影響を関す、 はほ近頭地より | 太行作戦で、関野戦、微峻影響を

臨めらせられず以係常相以下各勝 九日常族院において開院式を開 八日をもつて三日の香期を終了

時東條首相は裁しく玉座に向ってる骨族院本會憲場に務別、同十一

の協勝服法を破棄しその際とも原一個シフ、あるが元來重點はこれらの機能服法を破すした今來年賦を重點は 地方窓町の男を無趣密部して、多の場所を以上、 と、 一般連続野して來たが今や各地 関かした核様である。 と、 一般では、 一

によれば、かくる情勢下にあって

関院競員は午前十時五十分式場ため佐々木、内ケ崎関院副議長以下

る動脈を整置、需要兩院環境は重 最敬麗ののち内閣書記官の権持せ

質は所の統帥力に一抹の暗影を投

「御散の代疏士貞をこれま」開催、政府委員の出席書で決定。 現職の代疏士貞をこれま」開催、政府委員の出席書名の決定

捧げる無限の

決戦の相貌示す航空撃滅戦

高き國家的立場に 異常なる審議實績 短期議會に劃期的成功

不断にこれを攻撃常に多大の限果。

ニューギニヤ、ミルン歌を襲撃、

|金突敞四寒脳辺、七寒脳砂し小数||佐郷域されるであらうし、わが海||ければならない||二ユーギニヤ。ミルン瀬を襲戦、| 圏もか何に極吹を出さうとも、な | 慰謝を物け新たなる決意を露はな

烈々たる行門に即應して、供職機會の意識を昂揚、物質の値配を造成して十八日終了した 「は「一般」とは、これを水井」と教授教室中、企業要都が受持た法案など、八件の法院案を原案通り可要成立せしめ、東條前相の大東部建筑が終った。「一般未曾有の非常時間下に関かれた例外、一般特別者は常動館か 三日間とはいく得楽時期相携へて異態関力の態度をもった。

**る耐死ならびにアツツ 間隔削勝。 員の顧酬に前田顧務商長を充て喪・膨脈的に行つたことが知つて力が、阿黎郷を含らに弾めた網點となっいの間解弾症は川木売削の脱物。 定略的代謝 土育としこれら舞會役・戲問者の整理、風問事項の駒繋を「売すことではなくむしろ敷政會の** 代制を開立派型の中間とし、今次一あつた、また政府の改造、獨政會

特に衆議院に於いては幾何機関 蔣の統帥力に暗影

たことは特に注意される。だも十 「東京園館」 図時神會は十八日歌 の食桶盛園の削配によって、花 所製品の名離窓舎町可浜剛定を見 整るまで超する取扱かことになたが、原製館棚橋車特別會計鉄以 り、かくて食糧の確保の上から下各種関係を放験が上とにない、水 で食糧の 電気 という かくて食糧の 電気 という ない という はい という ない という はい という ない という はい はい はい という はい はい にいい という はい という はい にいる はい という はい という はい という はい はい はい という はい という はい という はい はい という はい という はい はい という はい とい という はい という はい という はい という はい という はい という はい とい という はい という はい

脱明容頼に借った田中政務網監は

版社協へて軍整備力の態度をもっというようというない。 「ではなくむしる、東後常相の大児迅速 使の影響があまずたものといふべき る一般影響を含むに残めたを映画 で、今後震攻會に恋く政府との一つ活動な意識活動は認る司目すべ で、今後震攻會は恋な政府との一つ活動な意識活動は認る司目すべ で、今後震攻會は恋な政府との一つ活動な意識活動は認る司目すべ で またものがある 全半島決意の賜物

章議案成立へ田中総監話る ・

部および七萬の電下部隊の祈職剛」は髪ひないところである。 しかしながら間、斑 に愛多の海嘯は免れず、ひいてはなってゐる、しかしながら間、斑 に愛多の海嘯は免れず、ひいては **地下を引導する廿四集原市副司令「能ししたばかりでなく、これによ」日附をもつてアラカン地下を引導する廿四集原市副司令「能ししたばかりでなく、これによ」日附をもつてアラカン地で、副、経関諸和なさせのの** 

各地に不穩の狀況續出

敗軍の將を起用 印度總督にウエーベル

極端な飢餓に営面してあるた

【マニラ十九日同説】全比島カリ

ビ大會で獅子吼

熱烈なる感謝

かぜねつ

頭痛に

85 M

来館「突頭政府は十八日間度」のアンドン「は町時頭籍を書版、オーヒンレツ」「リスポン十八日間限」ロンドン」は町時頭籍を書版、オーヒンレツ ク将軍が直ちに印度派遣軍司令官 に就任したが新網館は十日現然所「エーベルを印度の概に起用ノ来国力間上をFFF軍員を言う」「る原政両略の統合を狙つてノ来国力間上をFFF軍員を言う」 リンリスゴーの任期部了を俟つて

の更迭をつぎの通り競裘した

かしかういる機質にこそ内側の「脚下頭といふやうなものはこれか「抗増殖に内側がしからいるといふっとと、さういる所の中間が機等、工物は、いものは優秀な技術と統合して、ずつと上の高級が観者から下の方で、行けば事業自関にのいく、だか、の能が順工というたやさないった。 カルカ・ラン・マにいるのではないが、大変ことに使って関節を観り技術さんの高等関サル工業といるやではないが、大変のことに使って関節を設めた。さらはかり来ていたいるのではないが、大変のことに使って関節を取られる。 さんの高等國民襲校を出たのが百

それから既村に放ても取村に内 のおびま帯にい、ことであるが を得いて、関学よりうは手だと活 所が改ま帯にい、ことであるが を得いて、関学よりうは手だと活 所が改ま帯にい、ことであるが で発いて、関学よりうは手だと活 のがひまであればま様にい、ことであるが で発いて、関学よりうは手だと活 朝鮮では東街の手を介して來た移

うかつなことで脱理統合といふこ

でも、輸送の困難といふやうなこ

としては、一歩出て金融的に何 とから、それと、自給自足をはか

でさういふ原林料を生産して行か

上瀬局長 難しいのですが

教育を受けた内地農家を五十戸位

野菜も支那人から買ふさいふや 出席者-

それで 今加藤完治さん あたりの

ある一作りになって、忠南の諸の笛を一一あるが、だんく一若い者は肚丁に へる、技能者が十人居るよりも一 なことになると、内地に居れば観手に出してゐるが、そこで私は窓 取られて、職死をしたといふやう

軒では誰もゐないので十六になり。大も出征してをる、その中の一人も出征してをる、その中の一人を出征してをる。その中の一人を出征してをる。との時見に行った所では、內地 心細いらしい、折角いゝ聴家がいが、しかしさういふことではなで色々と而倒も見てゐるらし

ーベル弊政を財佐監護し任命、取 デー線の新騰のもとに非協力運動 日附をもつてアラカゴの敗略ウエ の聴度、さらに國民資源派がガン に任命、取一チー翁の旅機のもとに非協力運動「チトンおよび中型時間一駆を関格 能に來たり獨立運動の果然 度顕立運動の大立者スペス し既身することを熟取してゐ

| ベルリン十八日回風| 郷賦大本 関の動調提出があり、ついでオシ | 微は十八日正年水の魔域公戦を破・ノス事称次長およびセブ代美以下 | 楽した | 全地でなりません。 一概き 十九日午前九時から 市内ス ルド勝重なども出席、まつ威難決アキノ事務聴長ほか名局長アギナ

月てよ 健兒

化確かや吹陽外 粧 ぶけ出や 下虫れど動け傷

ソ船舶五撃沈

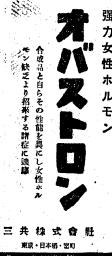
行動的な副衛派を率あて對英曼協

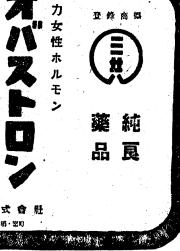
本語と別。 ・ 東町・参印開館・一参東日瀬の後編録 ・ 東町・参印開館・一参東日瀬の後編録 ・ 本町・一巻東日瀬の後編録 ・ 本町・一巻東日瀬の後編録 ・ 本町・一巻東日瀬の後編録 ・ 本町・一巻東日瀬の後編録 ・ 本町・一巻東日瀬の一巻東等に開

**州務所長會議終る** 

度 加東部に届り、しかも大東部の盟へ イ 目を集めたのであったが、今回突 の東部に届り、しかも大東部の盟へ ます自己は名簿できる時へくきこの企井優二氏(尼ケ解的工会議所が終地たる場びをおけて気は残った。 (日本道めたのであつだが、今回処。 席のため廿一日 (日井垣東工笠裏山東部に関り、しかも大東部の風 (中月百不二明氏(日井垣東工笠裏中日本の資利東京に現たれ奈園要 (春)同上

鼻の悪い人は 息 强力女性ホルモ 登錄商器





建艦案に署名スアイレルーズベルト・アエノ 数用機二萬九千百四十二機

チャンドラ ボース氏來朝

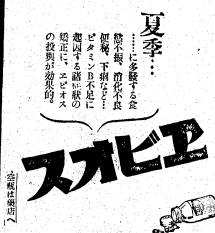
質価は十八日級新七百十五億ドル ソシントン來電=米國下院設出委 不陸軍本豫算案

たのではじめて『航空歌』として

い場球となります。 (説は書進二) 歴を一口でも加へて置くのはこの上もな形を一口でも加へて置くのはこの上もな形を一口でも加へて置くの仕もない。 唯今第六次群集中

信託 社會式株券競屋島川





夏休ぬきで、奉仕と鋏成

出身) の三君(年間

のでありますが……

でと、それく、の場門が方面に遊身のと、それく、の場門が大田助するない。 郷山 などにくり出して戦地で、場、郷山 などにくり出して戦地で

京畿道勞務管理協議會生る

増産の援護機關 関係に支靡をきたさない範圍内 他の決蔵に超りあがる。この保証一方國民、中等、界門校は輸送 動勢と増融の一石一路を狙つた張 **上碎精神で挑む** 

 - (\*\*\*) 山らを迎へ勇士の稽古相撲

撮少の努力で最大の成果を得よう | 派遣されてゐる年に

務管理協議歯を制設し、既時生と京畿道主を京畿道社會説では近く京畿道工

へるとは愉快ですね ししたとき無難したので清潔館だ 〇〇二派曹 難目は後部に命中、浮上がらう

大雅以上で最近の旅画のお

| 一個から歌の潜水脳変見といふ報告 | 一月十五日 | 一月十五日 |

れ自爆すの

水敷を攫張して巡る住事で一のは毎日々火ある減値を派ん

一部水敷をヤコ之のがあるねー

〇〇旬令 薬活動と協同す

そして問めなくの際長から『我に

ぎにはどの手でヤツつけようかと

石油 高會 2社

le jijaalil linaalin. 照明佐藤五朝 の四十八 ゖぉ

- 素朴なる腐敗出党の子らは昭 出身)福山勝己上等長(平北徳山)分達は陽初の初界に得を思いた。 とでます - 上等長(平北徳州部原田面方山祠)にあると駅はれます。この爲に国われます。この爲に国われます。この爲に国われます。この爲に国われます。 の後略を珍黙せしめる必要に大い。 かんかったがら後は力を合せられり、 一般はの核心をつく言葉に大川果夫。 の後略を珍黙せしめる必要に大い。 御僕に死ぬべきであるとを自分 階類との整波習は時数のたつのも 長隊は何時の日か必ず、 準下の 〇〇部疾源域における韓別には兵出身)の三君は――

歴忠報國の

固き決意

山田本社特派員(朝鮮

灣C地現

る心中を吐掘し割く清韻る治回應と切けた達しい探り器に強い取象

際の烈火の闘勇を放置しながら午 後野時年引むげた常馬真=野士に

國志

80(174) 吉川英治(格)

一瞬は、逆に、弱水万四へ駆け

隆配、增登!!則待

一室から選ばれた豆上も飛び入りし

**鯸部屋にも力艦を入れて、水漆を | ひせる、** 

数級を回行して信兵師と海軍志願

。は決戦下脚村が一の許す恨り極力助成金とし交付し 篤農家を設置强く育成

る若き光で職するのである

ととなったことは既報の通りであ

野日の日本にはある。

も、然ら、翻り四年

**| 佐鳳の如く、谷の内から出|** 展孔 死所 常地

明日の日曜には 見逃さなきやう 方面子惠嶺 市川 春代 上映 ・ 一本 本代 上映 ・ 一本 本代 上映 開場十一時。開映十二時

あらゆる 調整する 血行障碍之 障碍による頭 403 また職場の地帯から働ても、終日また職場の地帯がら働ても、終日 後二 **和親の風**ケ原ともいへるものであ

二日月日京城場所

けふの市況(予書) 稀少性株漁る

行製土銀守

四本源作商店

原本 関著を示せる意味は〇 の で、関係、アルミ等の 生 高明章を実着され地震計 体質行中で、原列・アルミ等の 生 高明音をは が、アルミ等の は、アルミ等の は、アル 曹に着目せよ

在社名 株式會社青森商會難及與政族開北段課告任候 華東政族開北段課告任候 唱和十八年六月一日司リ當社社名尹左ノ通リ昭和十八年六月一日司リ當社社名變更謹告

川芝本



月やくと、こうりお凶り の大学のでは、一の方や御心配の人